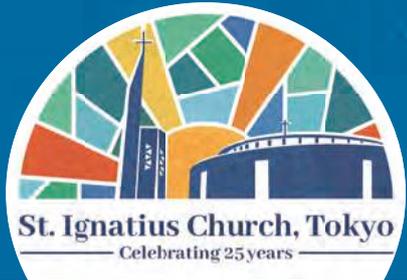


10月

カトリック麹町教会

MAGIS



マジス = 「より、もっと、さらに」

教会テーマ さあ出かけよう 心をつないで イエスとともに ~ともに重ねた25年の喜びのうちに 聖霊の導く未来へ~

現聖堂献堂25周年記念

協働して未来へのデザインを作ろう

主任司祭 高祖敏明

現聖堂献堂25周年、おめでとうございます。

聖イグナチオ教会の誕生から75周年、前身の聖テレジア教会からは88周年です。で、麹町教会は、今年、米寿を迎えております。

信徒数も、旧聖堂「巨きな木の舟」が完成した1949年に174人、現聖堂献堂の1999年に1万90人、コロナ禍を挟んで2024年3月には1万7906人に達しています。

この間、主のぶどう畑で働いてきた歴代の主任司祭を中心とした司祭団、教会活動をさまざまな面で支え協



働してきた信徒の皆さま、そして日頃よりご指導をいただいている東京大司教区の歴代の大司教様をはじめとする神父様方、各種修道会の神父様や修道士とシスター方、国内外から多方面にわたってご支援をいただいたきた恩人の方々、さらにはイエズス会の管区長以下、協力を惜しまない仲間の会員に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

これは、イエスご自身の言葉「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいる」(マタイ18:20)を典礼神学的に表現したものと云われます。

建設当時を知る教会委員長は、「今のデザインに至った経緯は、教会・イエズス会神父の合意、信徒の希望を経済的事情を含め、デザインした建築関係者との協働と云える」(「新しい教会のあゆみ」献堂10周年記念にあたって)と証言しています。

教会報 MAGIS10月号
+ おめでとう！ 現聖堂 25 周年 実行委員会 5 チームから P2~3
+ 教会行事報告 P4
+ <コラム> ~アルペ神父の物語~ P4
+ 教会学校 ~夏キャンプ~ P5
+ (現聖堂 25 周年記念連載) ⑥ P6
+ Family of St. Ignatius ~スペイン語圏から~ P7

### 【10月の共同祈願】

現聖堂 25 周年を迎えた今年、  
 私たちのこの教会を  
 聖霊で満たしてください。  
 ここを訪れる人が、  
 年齢・国籍・性別の垣根を越えて、  
 「ともに歩いていく教会」となりますように。

### 【ミッション 2030 -前文-】

私たち聖イグナチオ教会は、  
 祈りに基づく使徒的共同体を生きていきます。  
 現代の社会は、命の軽視や孤独、過度の競争原理や格差、  
 環境破壊など、未来に希望を見出しにくい  
 反福音的なものに脅かされています。  
 それに対して、私たちは自分たちの殻に閉じこもることなく、  
 いつくしみの扉を開いていきます。  
 私たちは、同伴者イエス・キリストと心を合わせて、  
 貧しい人や弱い人の声を聴き、  
 皆でともに手をたずさえて(日本人も外国人も、老いも若きも)、  
 福音の喜びを分かち合っていく使命を生きていきます。



## おめでとう！ 現聖堂 25 周年

現聖堂は今年 6 月 6 日に献堂 25 周年を迎え、10 月 13 日の教会祭では 25 年間を  
 記念したミサが捧げられます。昨年、現聖堂 25 周年記念実行委員会のもと発足した  
 「記念ミサ」「インターナショナル」「イベント」「若者」「記録」の 5 つのチームが、  
 現聖堂 25 周年を喜びのうちに迎える準備を整えてきました。



### 現聖堂 25 周年おめでとうございます

現聖堂 25 周年記念実行委員会 塚本京子運営委員長

皆さま、現聖堂 25 周年お  
 めどうございます。

10 月 13 日は 12 時より「現  
 聖堂 25 周年記念国際ミサ」、  
 15 時より「教会の子ども &  
 若者たちのこれからを考え  
 るシンポジウム」が行われま  
 す。準備委員会、実行委員  
 会と 2 年以上の期間をかけ  
 てメンバー一同、力を合わせ  
 心を合わせて準備してまい  
 りました。当日は皆さまの  
 参加を大きな力としお祝い  
 したいと思います。

12 時のミサは大勢の方が  
 参加されます。屋外ミサが  
 中心になります。主聖堂  
 も使われますので体調に合  
 わせてご参加ください。また  
 「教会の子ども & 若者たち  
 のこれからを考えるシンポ  
 ジウム」では未来の教会を担  
 う子どもたちのことを考え  
 ます。

次の 25 年を考える機会と  
 して、私たちの教会がより  
 良い未来を迎えられるよう  
 たくさん皆さまにもご参  
 加いただきたいと思ひます。  
 25 年前の献堂にご尽力く

くださった方々への感謝とと  
 もに、お知恵を拝借しなが  
 ら現状あるいは今後の教会  
 について考えてまいりますよ  
 う。

聖イグナチオ教会は国際  
 化が進んでいます。最近では  
 イグナチアンユースデーやク  
 リスマスの馬小屋作りなど  
 で協働が始まっています。今  
 日も各国の皆さまが奉仕に  
 参加してください。どの  
 ようにしたらともに教会の  
 ために働けるか、聖霊の導き  
 を識別しながら静かに祈り  
 喜びを分かち合ひましょう。

#### 記念ミサチーム 現聖堂 25 周年記念 国際ミサを野外で

5 年前の 6 月、献堂 20 周  
 年をお祝いする国際ミサが  
 教会敷地内の芝生で行われ  
 たことを覚えていらっしゃい  
 ますか。今年も 25 周年を記  
 念して、同じように野外ミ  
 サを行います。今回は今まで  
 以上に各言語の共同体が一  
 致してこのミサをお祝ひす  
 ることを目指しています。教

会学校の子どもたちと英語  
 圏のサンデースクールの子ど  
 もたちが一緒に歌う「子ど  
 も聖歌隊」も活躍する予定  
 です。これは、当日午後のイ  
 ベント「教会の子ども & 若者  
 たちのこれからを考えるシ  
 ンポジウム」にもつながる試  
 みです。

ミサは主聖堂やマリア聖  
 堂にも同時配信され、必要  
 な方は座席に座ってミサに  
 参加することもできます。  
 台風など大雨にならない限  
 りは雨天決行のため、レイン  
 コートなどを各自ご用意く  
 ださい。傘は視界をさえぎ  
 り、また人数が多いところで  
 は危険ですので使用できま  
 せん。

一連の 25 周年記念行事の  
 クライマックスとなる国際ミ  
 サとともに祝い、喜びを分か  
 ち合ひましょう。

#### インターナショナルチーム 合同聖歌隊 (Joint Choir) で祝つ

聖イグナチオ教会は、その  
 国際色の豊かさが特徴の一  
 つです。実際、主日ミサにあ  
 ずかる信徒数は外国人が日  
 本人を上回っています。さま  
 ざまな言語や文化的背景を

もつ人々が、ひとつの教会に迎え入れられていることは大きなお恵みです。

現聖堂25周年記念行事をお祝いする中で、インターナショナルチームは外国語圏信徒からの「準備段階から関わりたい」との意見を受け、「ともに歩む」ためのミーティングを重ねてきました。このプロセスこそが意義深いと実感しています。

10月13日に行われる「現聖堂25周年記念国際ミサ」は、インターナショナルなお祝いです。今回のミサにおける新しい試みの一つは、「合同聖歌隊 (Joint Choir)」です。言語圏の壁を超えて一つになるミサを試みています。

また「教会の子ども&若者たちのこれからを考えるシンポジウム」では、多言語圏からのグループ紹介や信仰体験の分かち合いもあります。次代を担う若者たちが、さまざまな違いを乗り越え、感謝と喜びをもって、将来に向けて心を注ぐ機会になればと思います。

その他、「シノドスの教会」を目指すための試みとして、「霊的会話企画」も進

めています。

皆さまとともによりシノドスの教会の精神を深めていくことができそうですように。

### イベントチーム 一年半かけさまざまなイベントを

現聖堂25周年のお祝いは2023年度の教会祭から2024年度末まで約1年半かけて行われることになりました。イベントチームでは、まずさまざまなイベントのアイデアを提案し、各活動グループからも企画を募集して、その中から実行委員会において記念行事を決定しました。



行事スケジュールが決まったところで、信徒の皆さまと情報を共有し、共に祝いムードを盛り上げるために、コンテストに応募された「記念ロゴ」のシールとポスター

を作成しました。シールは

教会学校や郵便物などに使用されています。ポスターは「記念ロゴ」、合い言葉となる「テーマ」や行事スケジュール、またお祝いの主役の美しい聖堂写真を題材にして、当教会に集まっている7カ国語で掲示しています。

記念品は、オリジナルのクリアファイルを日本語版と英語版で準備しています。また、記念カードは中央・千代田宣教協力体で交流している教会の周年祝いも共有した絵柄となっています。お楽しみに！

### 若者チーム 若者のための シンポジウム開催

私たち若者チームは、若者が教会に居場所を見いだし、生き生きと活動できるような魅力ある教会にした「いのちの思いから、シンポジウムを企画しました。」

10月の教会祭では、教会の各所で活動する若者たちによる「教会の子ども&若者たちのこれからを考えるシンポジウム」を開催します。

教会学校、青年会、ワール

ドユースデー参加者など13グループの紹介を兼ねながら、教会学校では子どもたちにとのように信仰を伝えるか、また、若者自身の信仰体験も伝えながら、祈りてつなぐプログラムを考えました。各グループの若者たちの祈りが皆さまのもとに届きますように…。

さらに11月には、今回のシンポジウムの内容をより発展させて2回目を開催する予定です。今回の現聖堂25周年を機にインターナショナルなつながりを大切にしながら、引き続き教会全体で考える場を作りたいと考えています。

2030年に向けて、私たちはこれからも教会を支える若者たちを応援してまいります。

### 記録チーム 歴史と未来をつなぐ

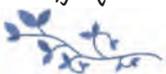
私たちの教会の歴史は1936年にさかのぼります。多くの司祭、ブラザー、シスター、そして信徒の皆さまが紡いできた歴史の上に、現聖堂は献堂25周年を迎えます。

これを祝い記念するため

に、「教会史編集セクション」と「デジタルアーカイブセクション」が「記録チーム」として発足しました。「教会史編集セクション」は、教会報『聖イグナチオ教会報』と『マジス』(2009年〜)を中心に、写真チームが撮影した「イグナチオフォトギャラリー」と合わせて、私たちの教会生活を『聖イグナチオ教会のあゆみ』現聖堂25周年記念「略年表」に編み込みました。一方、「デジタルアーカイブセクション」は、教会のデジタルトランスフォーメーション(DX)の試みの一環として、さまざまな形態で諸先輩方が残された貴重な史料資料をあせることなくデジタル保存するプロジェクトを、この周年を機に立ち上げます。

記念の略年表は部数限定で発行されます。DX化の第一歩として、教会ホームページから閲覧できるようにQRコード付きカードを発行します。さらに、現聖堂献堂当時の写真を使った動画もアップロードします。

皆さまからいただいた応援とご協力に心から感謝いたします。



教会行事

7月の主な教会行事をご紹介します。

ジュニア・オルガンデー

7月27日(土)10時より主聖堂にて、「ぼくもわたしもオルガニスト。パイプオルガンに触れてみよう」をテーマにジュニア・オルガンデーが開催されました。小学生から大学生まで17名と保護者が参加し、まず、首席オルガニスト・浅井寛子さんよりパイプオルガンの構造や歴史について話を聞きました。

「このオルガンはドイツ製です。パイプは金属と木で作っていて、正面には40本のパイプがあり、中のパイプと合わせると3ー46本もあるんです。パイプの下の風箱に空気を送ると音が出ます。」



短いパイプからは高い音、長いパイプからは低い音が出ます。鍵盤は3段、足用の鍵盤もあって、49種類の音色を奏できます。

パイプオルガンは約2000年前、イエスが生きていた時代に生まれました。当時は屋外で何かを知らせたり、獣を追い散らすことが目的で、大きな音だけしか出ませんでした。やがて、鍵盤がつき、聖歌の伴奏に使われるようになり、多くの作曲家が曲を書いています」

次に、オルガンの演奏を聴き、皆で『マリアさまのこころ』を歌いました。最後に、パイプが並ぶ空間を見学し、それぞれが自由に演奏を楽しみました。

イグナチアンユースデー

7月28日(日)18時半、マリア聖堂に多国籍の青年たちが集いました。今年のテーマは「教会をたてよう!」。高祖敏明主任司祭の司式で聖体讃美式とテゼの祈りが行われました。皆でミサの奉仕をし、ギター演奏はアントニウス・フィルマンシャー神父、オルガン演奏は浅井寛子

さんが担当しました。

聖イグナチオ教会は、私たちの家族、母、避難所、救いの船、キリストの体など様々なイメージがあります。ここに集う多様な人々の一致の象徴として、とても大事です。祝福のあと、昨年ワールドユースデーで歌った歌を全員で歌いました。聖霊に満たされ、熱意を持って協力し合い、一致できたことを実感したこの瞬間は最高でした。

その後、ヨセフホールに移動して第2部が行われました。料理を食べながら、聖イグナチオ教会に関するトリビアやクイズで盛り上がりました。好きな作家の一人、遠藤周作がクリプタに埋葬されていることを初めて知りました。この友情の絆がさらに強まることを祈ります。

(国際青年会  
ベリル・モンタノ)



現聖堂25周年企画

アルペ神父さまってどんな人?

〜アルペ神父の物語〜

聖イグナチオ教会の信徒会館3階に「アルペホール」と呼ばれる部屋がありますが、この部屋に名を遺されたアルペ神父のことは、どれくらいご存じでしょうか。

ペドロ・アルペ神父は、1907年にスペインで生まれました。医大生だったときにフランスのルルドに行き、何人もの病者が奇跡的に回復する瞬間を目撃したことをきっかけに司祭を志し、イエズス会に入会。1938年に来日しました。

1945年8月6日。人類史上はじめて原子爆弾が投下された日、アルペ神父は、広島島の爆心地から4キロほど離れた長束修練院にいました。修練院はその日から、急ごしらえの病院になりました。医学部出身だったアルペ神父は150人ももの負傷者を受け入れ、不眠不休で治療にあたりました。その結果、ほとんどすべての命が助かったのです。

その後、アルペ神父は世界中のイエズス会に、日本復興

の支援を繰り返し訴えました。その呼びかけに多くのイエズス会士が心を燃え立たせ、日本への派遣を望んだのです。

現聖堂献堂の前年まで主任司祭を務めたルイス・カングス神父も、その一人です。また教皇フランシスコも若い頃、日本での宣教を希望する手紙をアルペ神父に送ったといわれています。

\*\*\*

2018年、ローマ教区はアルペ神父の列福へ向けた調査を開始しました。アルペ神父の人となり、生き方、信仰——様々な物語を皆で語り継ぎ、列福の実現を祈りたいと思います。

アルペ神父列福祈願  
連続企画 Part1

アルペ神父さまってどんな人?  
〜アルペ神父の物語〜

お話: 酒井陽介神父(イエズス会司祭)  
日時: 10月6日(日)13:00~15:00  
場所: ヨセフホール

アルペ神父に関する研究を長年、続けていらっしゃる酒井陽介神父がお話をしてくださいませ。

教会学校

今年も実施！教会学校の夏キャンプ



すべての教会学校で夏キャンプを実施することができました。各リーダーからの報告をご紹介します。

●土曜学校

大盛り上がりの夏キャンプ

土曜学校は、8月20日～22日に例年通り静岡県の不二聖心山の家で夏キャンプを行いました。今年度も20人を超える子どもたちが集まり、工作イベントやキャンプファイヤー、夏祭りや班対抗のスポーツ大会、水イベントや手持ち花火などのさまざまなイベントを行うことができました。3日間を通し



▲不二聖心山の家にて

●日曜学校

つなごう心の電話

日曜学校では8月14日～16日に「つなごう心の電話」をテーマに夏キャンプを行いました。途中台風の影響によるスケジュール変更もありましたが、最終的には全ての催しを楽しむことができました。また、今年はコロナ禍後初となる完全体（2泊3



▲神父様と虫取り大会♪

日)での実施となりました。無事に過ごせたことを保護者・関係者の皆さま、そして神さまに感謝したいと思います。これからも子どもたちの成長の一助になるよう、活動してまいります。

(リーダー まの)

●中学生会

Let's get along

中学生会では8月11日～13日にかけて夏キャンプを行いました。イベントでは、水鉄砲、水風船を使ったイベントや肝試し、Tシャツ作りなどを行いました。また田圃のや流しそうめんなどの夏らしい食事をみんなで囲み、楽しい時間を過ごしました。

テーマ「Let's get along」のように、ミサや分かち合いを通してみんなの心が一つになっていき、中学生それぞれの成長を感じることができました。評議員や神父様方、保護者の方々などの教会学



▶青空の下で水イベント

校を支援して下さる皆さまのお陰で、2泊3日の夏キャンプを無事に楽しく過ごすごうことができました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

(リーダー すけっち)

●高校生会

一生の思い出に

高校生会では8月17日～19日の2泊3日、よつば山荘にて夏キャンプを行いました。台風の影響により急きよ泊減らしての実施となりましたが、たくさん思い出を作ることができました。参加人数は高校生が6人、リーダー、ヘルパー、神父様が9人と子どもよりも大人の人数が多い異例のキャンプとなりました。高校生からは過去一番楽しいキャンプだったと



▲ボニー・ジェームス神父と車座になって

いう声も聞こえてきて、一生の思い出となる素晴らしいキャンプでした。

(リーダー あやぼん)

●侍者会

みんなで仲良く、新時代に

侍者会は、8月4日～5日に箱根にある函嶺白百合学園にて夏キャンプを実施。今年初めての場所での泊りだったのでわくわくした夏キャンプでした。参加者は小学生から高校生と幅広く、中には今年から新しく侍者になる子どももいました。キャンプではミサや授業の他、風鈴づくりや花火をしました。短い時間ではありますが、子どもたちと楽しい思い出を作ることができました。

(リーダー りよーへー)



▲朝の体操中



▲ 1999年6月13日に開催された「世界の子どもとともにささげるミサ・献堂祝賀会」

〈現聖堂25周年記念連載〉⑥

## 教会に育てられた私が 今、思うこと

北澤茂雄さん(信徒)

### “池さん”に教わったこと

小学4年生頃だったでしょうか。母に「四谷に大きな教会があるので行ってみたい」と言われました。旧聖堂の時代でしたが、大きな聖堂に、大勢の外国人の宣教師。子ども心に感動したことを覚えています。

中学生になった時、池尻廣幸神父が着任されました。教会学校では毎夏、キャンプに行くのですが、池さんは「僕たちはそう呼んでいました——、「外でミサをやる」と言われたんです。」

### 教会から持ってきたのは 北澤茂雄さん(信徒)

教会から持ってきたのはぶどう酒とホスチアだけ。他には何も無い。どうするのかと思っていたら、池さんは竹を切って、カリスを器用に作られたんです。

子どもにとってミサはかなり苦痛です。話すとき注意されるし、動き回ると怒られますから。でも、自分たちで準備して作り上げていくミサはとても楽しかった。

そんな経験をしたリーダーたちが、「子どもが能動的に参加できる主日のミサがほしい」ということで始めたのが、「子どもとともにささげるミサ」です。今は奇数月の第2主日に、その日の典礼に合わせて行っています。当初はテーマから自分たちで考え、テーマに沿った朗読箇所を聖書の中から探

### ●北澤茂雄さんプロフィール

小学5年生で受洗し、信徒歴約30年。コロナ禍の2020～2021年に評議員を務め、オンライン配信の実施に取り組んだ。

し、祈願文も皆で考え、文字通り、一から自分たちで作りに上げていました。池さんには、体で信仰というものを教えていただいた気がしています。

### 芝生がなくなる!?

池さんとの思い出をもう一つ。現聖堂の最終的なデザインができあがった頃のことです。僕たち教会学校のリーダーが呼ばれ、「教会委員と話し合うように」と言われました。内容は、教会の中庭についてです。芝生をやめてコンクリートを敷き、オープンカフェ風にして信徒の交流の場にする、といった案が教会委員から出ていたのだそうです。

芝生がなくなる!?!遊び場がなくなる!?!戸惑う僕たちに、池さんは「どうするか、君たちが話して決めてきなさい」と、背中を押してくれました。

教会委員の方たちと、僕たち教会学校のリーダーが机をはさんで向かい合って座り、お互い真剣に話し、相手の話を真剣に聞きました。

「庭や芝生がなくなったら、遊ぶ場がなくなります。」

### “アルさん”に学んだこと

2000年、アルフレド・セゴビア神父が教会学校の担当になりました。

当時の教会学校のリーダーには熱い人と冷めた人がいて、ミーティングになると熱い人たちは議論をぶつけあい、冷めた人は黙っているという雰囲気でした。

アルさんが「僕たちはそう呼んでいました——それを見て、「君たちに必要なのは分かち合いだよ」と言われたんです。主張するばかりの人と、何も主張せず黙っている人、そういう関係ではお互い分かり合うことができない、と。」

それを機に、教会学校ではいろいろなテーマで分かち合いをする習慣ができました。青年会になったときには分かち合いのチームを作り、平日の夕方に分かち合いをしていました。

僕自身、自己主張が強くて、人の話が聞けなくなったりしがちでしたが、分かち合いをたくさんしたおかげで、人の話を聞くことは興味深いことだと学ばせてもらいました。

最近、気になっていることがあります。コロナ禍の間に対面の機会が減り、分かち合いがなくなってしまうことです。そして今、コロナ以前の教会に戻そうと神父も信徒も懸命で、立ち話くらいしかできません。

忙しいからこそ、分かち合う時をもつことが大切だと思うのです。分かち合い、理解しあいながら活動することで、喜びや感謝が湧いてくるのではないのでしょうか。たまにはゆっくりと話してみませんか。



ミッション2030プロジェクトチームでは、現聖堂建設の前後に尽力された方にお話を伺う「教会の語り部に聞く」という集いを行いました。本稿は2024年7月28日(日)の集いでお話くださった当教会の信徒、北澤茂雄さんのお話を抜粋・編集したものです。



## Family of St. Ignatius

### ～スペイン語圏から～

シスター セシリア・ロペスご指導の下、スペイン語聖歌隊現メンバーは、メキシコ、ペルー、ベネズエラ、コロンビア、パラグアイ、エルサルバドル、日本とさまざまです。神父様方も「多様性」で、イエズス会はガラルダ神父、オチョア神父、ボネット神父（以上スペイン）、アイダル神父（アルゼンチン）、そして、コンベンツアル・フランシスコ会のイリネル神父（ルーマニア）、クラレチアン宣教会の増田健神父（スペイン・日本）も司式されています。ここで

は日本人が外国人のほずですが（笑）、シスターや皆のおおらかさと優しさに包まれ、隔たりやストレスは感じません。多様性と深い信仰のあるところに、神様はしっかりと働かれ、差別やマウントをとるような、神様を越そうとする人もいません。国籍は各々違っても、思いは一つだからです。ミサは、オルガンではなくギター伴奏で、2階ではなくイエスさまの足下で、イエスさまを仰ぎ見ながら7曲ほど歌います。オーディションはありません。要件はミサ前の練習参加と神を賛美し、仕える心だけ。  
(スペイン語聖歌隊 吉野ゆき子)

### ●宣教司牧評議会のお知らせ●

(9月5日開催)

1. 教会祭 10月13日(日)  
12:00 野外で25周年記念国際ミサ(小雨決行、レインコート持参)  
15:00 「教会の子ども & 若者たちのこれからを考えるシンポジウム」主聖堂にて
2. 2024年度はクリスマス実行委員会を立ち上げます。

### ●神田教会150周年記念ミサ●

9月16日(月)、宣教協力体として交流している神田教会の150周年記念ミサがあり、主任司祭と信徒の代表が参列いたしました。



### ミッション 2030 プロジェクトチーム

#### 【つながるプロジェクト】

～いろいろな言語の人たちとミサでつながろう～

日 時：11月10日(日) 15時のベトナム語ミサ  
参加申込：以下のURLやQRコード、または事務室横の申込書をご利用ください  
定 員：10名(申込先着順)



詳細はポスター・チラシでご確認ください  
<https://forms.gle/FxQjoNeyvDmoVe42A>

### ●皆さんとともに！● 2024年度 教会大掃除

11月4日(月・振替休日)9:30～11:15 予定  
※詳細はポスター、チラシでお知らせいたします。

## 10月の典礼と行事

最新情報は聖イグナチオ教会ホームページでご確認ください。

2 (水)	『社会問題とカトリック教会の考え 2024年度連続セミナー』 シノドスの教会 - 皆が参加し、ともに歩んでみよう - 18:30 ヨセフホール 皆が弟子、皆が宣教者 (3) - 教会は宣教である - 講師：原 敬子氏 上智大学神学部教授
4 (金) 初金曜日	祈りの集い 19:00
5 (土)	教勢調査 18:00ミサ
6 (日) 年間第27主日	教勢調査 日本語ミサと外国語ミサ 日曜サロン・ミニオリエンテーション 11:00～12:30 ヨセフホール 現聖堂献堂25周年記念 アルベ神父列聖祈願連続企画 Part1 13:00 ヨセフホール アルベ神父さまでどんな人? - アルベ神父の物語 - お話：酒井陽介神父
9 (水)	傾聴ルーム 11:15～15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00 ミサ後
13 (日) 年間第28主日	<b>教会祭</b> 12:00 現聖堂 25周年記念国際ミサ 15:00 教会の子ども & 若者たちのこれからを考えるシンポジウム
14 (月)	オルガンと祈り～大人向けパイプオルガン見学ツアー～ 13:00
16 (水)	クリプタに安置され10月に命日を迎える方々のためのミサ 12:00 『社会問題とカトリック教会の考え 2024年度連続セミナー』 シノドスの教会 - 皆が参加し、ともに歩んでみよう - 18:30 ヨセフホール 絆を紡ぎ、共同体を築く (1) - 教会的識別 - 講師：酒井陽介神父
19 (土)	長寿の集い 13:30 ヨセフホール
20 (日) 年間第29主日	幼児洗礼式 (第2回) 10:00 ミサ 日曜サロン・ミニオリエンテーション 11:00～12:30 ヨセフホール <b>世界宣教の日・献金</b>
23 (水)	傾聴ルーム 11:15～15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00ミサ後
27 (日) 年間第30主日	結婚感謝ミサ 10:00 ミッション 2030講話・黙想・霊における会話② 13:30 ヨセフホール
31 (木)	ヤングオールド映画会 「ゴルゴタの丘」 13:00 ヨセフホール

主任司祭：高祖 敏明

助任司祭：ボニー・ジェームス  
グエン・タン・ニャー  
サトルニノ・オチョア  
柴田 潔

協力司祭：ハビエル・ガラルダ  
中村 健三  
グエン・バン・テー  
関根 悦雄

シスター：マルセラ・ロサス  
(セントロ・ロヨラ)  
フロール・フロレーセ  
ジェスリン・ブエンディア  
(ジョン・デ・ブリット イングリッシュセンター)

ミサ参加方法はホームページ、教会事務室で確認してください。

## ミサの時間 Mass

【平日 Weekday】主聖堂 Main Chapel  
7:00/12:00/18:00【土、日曜日 Saturday & Sunday】主聖堂 Main Chapel  
土曜 18:00/19:30 (Viêt Nam)日曜 7:00/8:30/10:00/18:00  
12:00 (English) /13:30 (Español) /  
15:00 (Viêt Nam)

【月の第1日曜日 1st Sunday】

Our Lady's Chapel  
12:30 (Português) /16:00 (Polski)

【月の第2第4日曜日 2nd &amp; 4th Sunday】

Our Lady's Chapel 16:30 (Indonesian)

『マジス』へのご意見ご要望などのお便りは事務室までお寄せください。

カトリック麹町教会  
(聖イグナチオ教会)〒102-0083  
千代田区麹町6-5-1  
TEL 03-3263-4584  
FAX 03-3263-4585  
<http://www.ignatius.gr.jp>Linktree (リンクツリー)  
リンクツリー (linktree) とは多  
数のリンクをまとめて表示して  
いるツールのことです。このQR  
コードを読み取ると教会ホーム  
ページ、教会ガイド、Twitter、  
Facebook、Instagram、  
YouTube へアクセスできます。